



CREATE HOPE
in the WORLD

世界に希望を生み出そう
2023～24年度テーマ



中村ロータリークラブ

例会記録 (2023～2024)

会 長/稲 田 玲 子
幹 事/弘 内 英 一 郎
会報委員長/川 邊 浩 之

創 立/昭和38年10月2日
例会日/水曜日 12:30～13:30
例会場/新ロイヤルホテル四万十
事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553
●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2780

第2911回 令和6年2月14日（曇り）

本日のプログラム：ゲストスピーチ 四万十市地震防災課

2月21日(水)：会員スピーチ 高知分区LM報告

2月28日(水)：会員スピーチ PETS、DTTS報告

【会長挨拶】稲田 玲子会長

・今年の元旦に発生した能登半島地震から1ヶ月半が経ちましたが、まだ震度4の余震があるようです。専門家によると、ここ1～2週間内に震度5の地震が起こる可能性もあるそうです。今回の地震は、古い住宅の倒壊によって亡くなった住民の多さが際立っています。死者222人のうち死因で最も多かったのは、倒れた建物の下敷きになるなどの「圧死」が92人（41%）、「窒息呼吸不全」49人（22%）となっています。尚、犠牲者の7割超は60歳以上です。

また今回、石川県内では6万超の住宅が損壊。この内被害の大きかった珠洲市では、全壊3600棟、輪島市でも2000棟以上となっています。

現在、耐震化率の全国平均は87%。高知県は88%ですが、耐震改修工事の補助金もありますのでご活用ください。

【幹事報告】弘内英一郎幹事

- ・ロータリー米山記念奨学会より
創立60周年記念の特別寄付の感謝状と盾
- ・四万十川自然再生協議会より総会のご案内
3/2（土）14:00～四万十川防災センター
- ・児童養護施設若草園より卒園式のご案内
3/16（土）16:00～若草園1Fホール

【委員会報告・会員発言】

■山崎 隆之副幹事

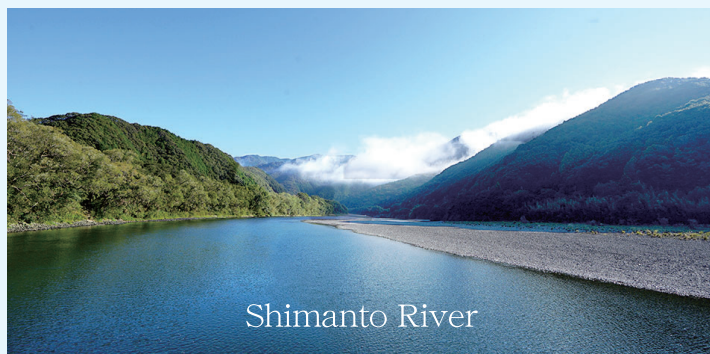
- ・ガバナーエレクト事務所より
地区研修・協議会のご案内
3/17（日）10:30～JRホテルクレメント高松
出席義務者/会長、幹事、会計、四大奉仕委員長、クラブ奉仕委員長、R財団、米山記念奨学会、会員増強、公共イメージ向上委員長以上、よろしくお願いいたします。

■星野 努青少年奉仕委員長

本日、6時半より吾妻で、国際奉仕、青少年奉仕委員会合同で家庭集会を行います。事務局ではインボイス対応の領収が出せませんので、当日集金でおつりのないようお願いします。



悠久の流れを未来に継ぎよう



Shimanto River

【本日のプログラム】 四万十市地震防災課 遠近由幸課長 佐竹孝一郎係長



■佐竹孝一郎係長

南海トラフ地震対策につきまして四万十市地震防災課からお話しさせていただきます。

四万十市の災害特性について、四万十川が市の中心に流れており、中筋川、後川流域に地域が形成されています。能登地震の珠洲市、輪島市では高齢化率40%を超えています。四万十市は37.3%になっていますが、中心市街地は20%、山間地域は50%を超える差が出ています。四万十川で大きな洪水が出た時は要避難者が2万人超え、中山間部では土砂災害が懸念されています。レッドが1800、イエローが1900カ所あります。沿岸部は津波が想定されており、L2という千年に一度の津波によって避難者が約9000人という県の想定が出ています。中心部については液状化が懸念されています。

南海トラフ地震は、最大震度が7、100秒位揺れが続くと言われています。起震車の体験でも2～3分で「長い」という感想です。私も体験しましたが中々身動きが取れません。どこで起こるか分からないので、自分の身は自分で守るということを第一に避難していただきたいと思います。

津波の浸水地域は、下田、八束、古津賀地区が甚大な被害が予測され、最大津波高は22mと言われています。水戸地区では最短17分で到達する想定も出ています。

今から80年位まえの昭和の南海トラフ地震でも、今回の能登地震のように1階が潰れています。市では住宅の耐震化、古い家屋の解体といった事業もしています。

能登半島地震の被害状況もまとめました。

[写真説明と動画約1分]

- ・ 焼け崩れた「輪島の朝市」
- ・ 復旧がままならない状況
- ・ 道路隆起、地盤沈下
- ・ 学校も再開しても半数も出席出来ていない
- ・ 3週間ぶりに水道が復旧し涙
- ・ 仮設住宅、基礎も簡単

市のこれまでの取り組みは、ハード事業は東日本大震災後、国の予算が付きまして、平成26年頃より、①津波避難路、②津波避難タワー、③防災活動拠点基地、④防災コミュニティセンター、⑤防災活動拠点施設、⑥防災行政無線、⑦備蓄倉庫の整備を行っています。また、ヘリポート整備と情報伝達手段の多重化で戸別受信機の無償貸与しております。

ソフト事業は、住宅等耐震対策を平成27年に戸別訪問をきっかけに一気に増えました。来年度も戸別訪問を検討しています。耐震に掛かる補助金も92万5千円で県下最低額です。増やすように段取りしています。避難所機能の強化として避難ルーム、ベッド、自家発電施設等整備しています。また、防災リーダーの育成が大事で、防災士の資格取得の推進をしています。現在、289人です。若い世代の防災意識の啓発も大切で、防災婚活、防災キャンプなどに取り組んでいます。

■遠近由幸課長

最後に、事業所での防災、減災対策の振り返りをお願いしたいと思います。四国防災セミナーという会に参加しまして、家具家電の固定率が出ています。家具が倒れて骨折という事例が多いという事です。災害対策は市だけでは対応しきれません。事業者の方には会社ぐるみで防災対策をしていただければと思います。今後とも地震防災対策、災害時の支援をお願いいたします。

【ニコニコ箱】

小松会員：経費削減でエスカレーター止まっています。申し訳ございません。

上野会員：週報の日付と回数が間違っていました。正しくは「第2909回、令和6年2月7日です。

大塚共々お詫び申し上げます。

【出席報告】 ・ 会員総数55名（免除会員6名）

・ 本日の出席/35名 76.09%

・ 先週の訂正 M4 69.57%→80.43%